

# 第61期 中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日



## 「MMライン」の モデルプラント 「オレンジベーカリー」が アメリカに完成

(1979年)

アメリカ・カリフォルニア州アーバイン市に「オレンジベーカリー（以下O.B.）」が誕生した。「MMライン」のモデルプラントとして、それまで限られた層向けの高級嗜好品だったクロワッサンを効率生産により大衆の手に届くようにし、アメリカでクロワッサンブームを起こす一因となった。当社名誉会長・林虎彦は、「O.B.はあくまでも実験工場であり、製パン工場のあらゆるノウハウを公開し、世界の食品産業の近代化に寄与することが第一の目的である」と語っている。

存在理由のある  
企業たらん

**RHEON**<sup>®</sup>

レオン自動機株式会社  
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

証券コード 6272

株主の皆様には、日頃より、  
当社グループの事業活動・企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社グループ第61期中間株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。



当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)の世界経済は、米国や主要欧州諸国を中心に物価上昇が予想を上回り金融の引き締めが継続するとともに、中国ではゼロコロナ政策の一環であるロックダウンにより景気が予想以上に減速しました。その上、ウクライナにおける戦争によってさらなる負の波及効果もたらされております。日本経済も、コロナの感染状況に左右されつつ持ち直し傾向にあるものの、急激な円安により輸入コストがかさみ物価上昇を招きました。

当社の食品加工機械製造販売事業では、部品供給の遅れや原材料費の高騰で製造メーカーとして厳しい経営環境でありましたが、家庭内消費増加や人手不足を背景に内製化を進めるスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどへの売上が伸びました。また、食品製造販売事業では、米国の景気回復により売上は増加しましたが、原材料費をはじめ様々なコストが上昇し利益を圧迫する形となりました。

このような状況の中、第61期第2四半期連結累計期間における売上高は17,337百万円(前年同期比36.6%増)、営業利益は853百万円(同9.1%増)となりました。経常利益は992百万円(同19.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は821百万円(同5.6%増)となり、当期の中間配当につきましては、1株当たり12円といたしました(年間では24円を予定)。

今期も、中期経営計画の4つの重点施策「生産・開発体制の強化」「販売体制の強化」「人材育成」「業務環境整備」を掲げておりますが、特に重要なテーマは「開発」と「海外人材の育成」と考えております。「開発」は当社の生命線であり、当社理念である「技術革新によって世界の食文化の継承と発展に貢献する」機械づくりを目指すためにも、将来の社会環境を見越した新機種の開発と顧客ニーズを反映した既存機の改良開発を継続いたします。

また、レオングループの海外と国内の売上比率は6:4ですが、今後、ますます海外売上が拡大します。そのためにはグローバルな考えを持った「人材育成」が重要であり、「だれでも仕事に対して積極的に挑戦できる環境づくり」を実現するため、様々な取り組みを始めました。長期的な目線で人は重要な資産と捉え、将来に向けた投資を進めてまいります。

株主の皆様には、未永く当社グループをご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

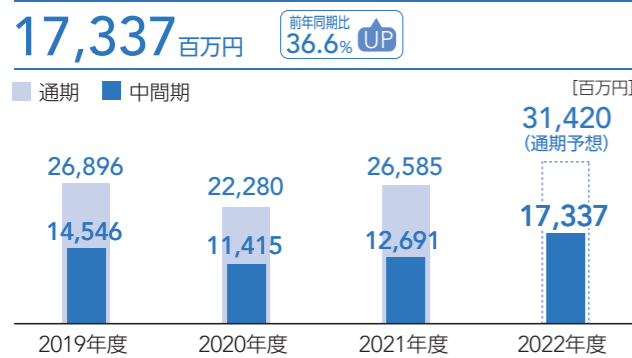
2022年12月

代表取締役社長

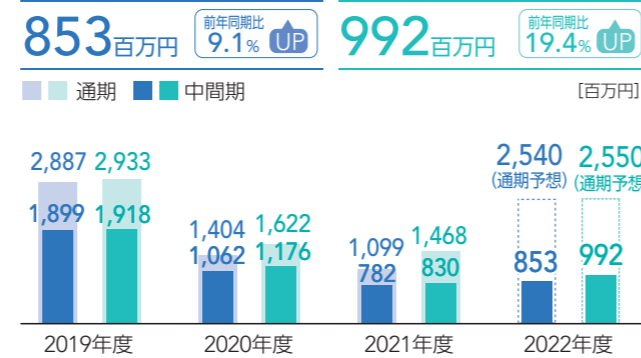
小・林 幹央

## 財務ハイライト

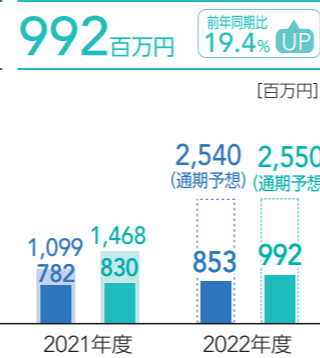
### 売上高



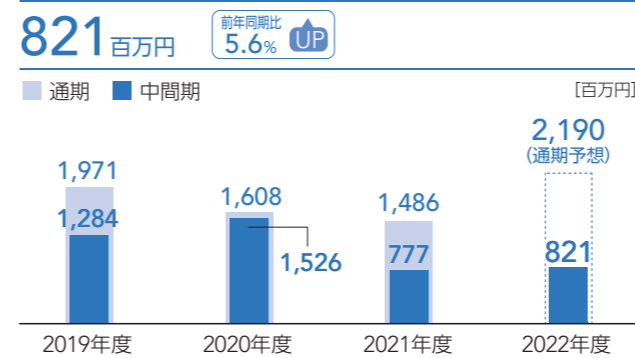
### 営業利益



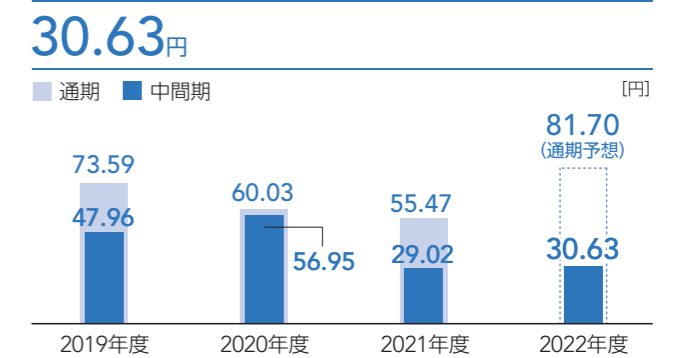
### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 1株当たり四半期(当期)純利益



## セグメント別売上高の推移

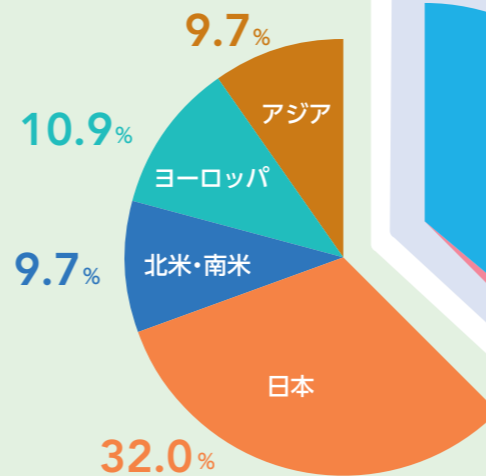
### 食品加工機械製造販売事業

10,809百万円 前年同期比 125.0% 構成比 62.3%

国内では、家庭内消費増加や人手不足を背景に、スーパーマーケットやコンビニエンスストア関連への投資が好調で、売上・セグメント利益ともに増加しました。米国では大型のアルチザンブレッドラインや、包あん機などの単体機の販売が好調で、円安の影響もあり、円ベースの売上が大きく増加しました。



FOOMA JAPAN 2022



### 食品製造販売事業

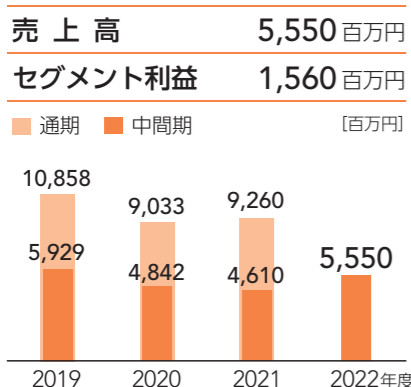
6,528百万円 前年同期比 161.4% 構成比 37.7%

米国子会社であるオレンジベーカーリーでは、パンデミック明けの需要増大が継続し、売上が大きく増加しましたが、急激なインフレの進行により原材料費、運送費などが軒並み値上がりした影響を受け、赤字となりました。

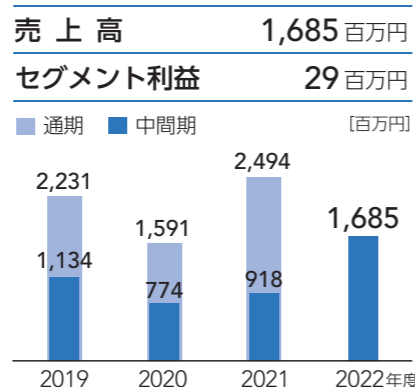


ターンオーバーロボット(オレンジベーカーリー)

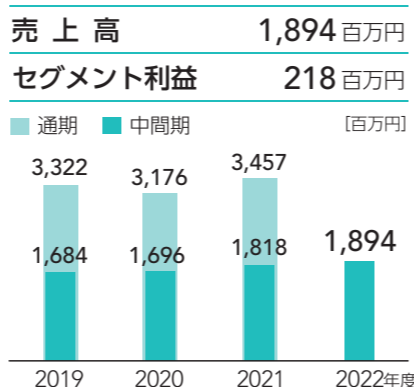
### 日本



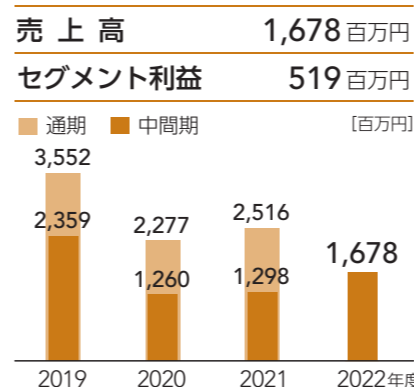
### 北米・南米



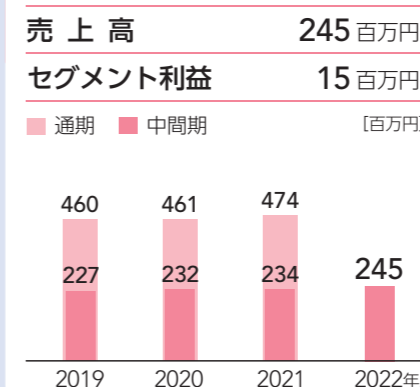
### ヨーロッパ



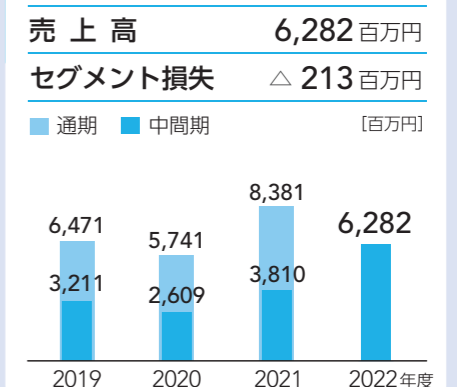
### アジア



### 日本



### 北米・南米



## レオン自動機の女性活躍推進に向けた取り組み

昨今、企業経営においてサステナビリティの重要性が問われています。そこで当社は、サステナビリティの3つの重点課題として「環境」「人材・組織」「技術」を掲げました。

今回は、この重点課題の「人材・組織」の中の「女性の活躍」にスポットを当て、当社の取り組みをご紹介します。

	2021年度 (2022年3月31日時点)	2030年度 目標値
女性管理職／全管理職	3%	10%
女性採用／新入社員	13%	20%
女性／全社員	17%	19%

当社が掲げる女性の活躍の場を広げるための2030年度までの目標値

取り組み

### 「ダイバーシティ経営の中で考える女性活躍推進講演」を実施

1



女性社員の意識改革のきっかけとなることを目的とし、株式会社NTTドコモ 東京支店長の野沢千晶氏による講演会を7月に実施いたしました。同社が女性社員の働き方をどう捉え、社内ですぐ取り組んできたのか、具体的な事例を交えつつ、紹介いただきました。

ダイバーシティ推進室長や栃木支店長などを歴任し、また、母親でもある同氏へ、当社女性社員からは「仕事と育児の両立はどのように行ってきたのか？」「これまで管理職を続けてこられた理由は？」など多数の質問がありました。

当社は、ダイバーシティ&インクルージョンを促進し、社員一人ひとりの多様性を理解し活かしていく職場環境づくりに努めるとともに、女性管理職比率の向上など、女性社員の活躍の場をさらに広げてまいります。

聴講した社員の声



他社の取り組みを知ったことで、「女性活躍」という言葉を意識することが増えました。



サーバント型リーダーシップ<sup>※1</sup>を知り、女性管理職への見方が変わりました。



アンコンシャス・バイアス<sup>※2</sup>について理解し、今後は前向きに仕事に取り組みたいと思いました。

※1 相手(チームメンバー)に奉仕をした上で相手を指導していく、支援型または奉仕型のリーダーシップ

※2 自分では気づかないまま心の中に持っている偏った見方・考え方、根拠のない思い込み、先入観・固定観念などを意味する言葉

取り組み

### 女性社員向け「キャリアアップ研修会」を毎月実施中

2



女性社員の希望者を対象とした「キャリアアップ研修会」をスタートしました。この研修会は、女性社員が将来に向けてキャリアアップを図るための意識改革を進め、女性リーダーとしての基礎力を身につけることを目的としており、意見交換、グループディスカッション、ロールプレイングなどを行っています。

当社は、社員が能力を活かし、高いパフォーマンスを発揮するための環境整備、風土醸成を目指してまいります。

## ニューノーマル時代にも適した最新機種を展示 ～FOOMA JAPAN 2022～



2022年6月7日から10日の4日間、東京ビッグサイトにて、「FOOMA JAPAN 2022(国際食品工業展)」が開催され、約9万人の来場者が訪れました。

食品関連業界もウィズコロナに伴う社会情勢や生活様式の変化など、「ニューノーマル」への対応に迫られている中、当社は火星<sup>®</sup>「CN700」をはじめとする最新機種10種類以上を展示、実演。効率化・省人化による人手不足の解消、衛生環境の充実による安心・安全の確保、高品質での均一化など、機械化のメリットをPRしました。

また今回、第1回FOOMAアワード<sup>※</sup>2022では、「火星<sup>®</sup>」が特別賞を受賞しました。今後も食品成形技術のパイオニアとして、お客様の多様なニーズにお応えできる機械づくりに取り組んでまいります。

※ 一般社団法人 日本食品機械工業会が、優秀な食品機械・装置を顕彰する表彰制度として創設。食品機械の技術研究・開発の促進と普及を図るために、優秀な食品機械・装置を広く周知し、食文化並びに食品安全の一層の向上に役立てることを目的としている。

# 会社情報/株式情報 (2022年9月30日現在)

## 会社概要

商号 レオン自動機株式会社  
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.  
本社 栃木県宇都宮市野沢町2番地3  
設立 1963(昭和38)年3月15日  
資本金 7,351,750,000円  
従業員 574名

(注) 従業員には契約社員、嘱託社員、パートタイマー、準社員、国内外出向者、台湾支店の現地社員は含まれておりません。

## 役員

取締役会長	田代康憲
代表取締役社長	小林幹央
取締役常務執行役員	金子保茂
取締役常務執行役員	大貫和茂
取締役	平原興
取締役	横山薫
常勤監査役	宮岡正
監査役	平林亮子
監査役	横山不二夫

(注) 1. 取締役平原興および取締役横山薫は、社外取締役であります。  
2. 監査役平林亮子および監査役横山不二夫は、社外監査役であります。  
3. 取締役平原興、取締役横山薫および監査役平林亮子、監査役横山不二夫は、東京証券取引所の定める独立役員であります。

## 事業所

上河内工場 宇都宮市中里町715番地1 (ISO9001認証取得)  
東京営業所 江東区新砂1丁目6番35号  
JMFビル東陽町02 1階  
札幌出張所 札幌市白石区南郷通20丁目北1番37号  
仙台出張所 仙台市泉区八乙女3丁目12番地の1  
名古屋営業所 名古屋市名東区社台3丁目32番1号  
大阪営業所 吹田市垂水町3丁目25番11号  
岡山営業所 岡山市北区上中野2丁目12番18号  
福岡営業所 福岡市博多区東那珂1丁目13番15号  
台湾支店 台北市内湖區新湖一路118號5樓 台湾  
上海駐在員事務所 中華人民共和国上海市長寧区虹橋路1438号  
古北国際財富中心2期5階 503-30室

## 関連会社

- レオンUSA(アメリカ)
- レオンヨーロッパ(ドイツ)
- 株式会社レオンアルミ(日本)
- オレンジベーカー(アメリカ)
- 有限会社ホシノ天然酵母パン種(日本)

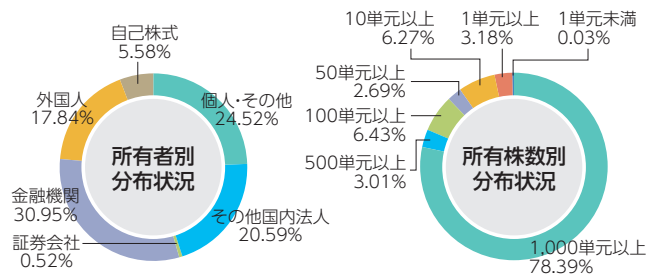
## 株式の状況

発行可能株式総数 42,800,000株  
発行済株式総数 28,392,000株  
株主数 5,794名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,166	11.8
公益財団法人レオロジー記念財団	3,030	11.3
ラム商事有限会社	1,703	6.4
レオン自動機取引先持株会	1,514	5.6
株式会社足利銀行	1,260	4.7
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,163	4.3
JP MORGAN CHASE BANK 380684	869	3.2
レオン自動機従業員持株会	759	2.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	712	2.7
株式会社栃木銀行	680	2.5

※ 自己株式1,584,174株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- ご注意  
(1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。  
(3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金計算書について  
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

## 「つつむ」「レオンパレード」がデジタル化

季刊誌「つつむ」に続き、広報誌「レオンパレード」もデジタルブック化しております。ぜひご覧ください。

つつむ  
<https://www.rheon.com/digital/tutumu/>

レオンパレード  
<https://www.rheon.com/digital/rheonparade/>

※閲覧のみとし、SNS等への掲載はお控えください。



## レオン自動機株式会社

RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町2番地3

TEL.028-665-1111

<https://www.rheon.com/>

